



(こども版) としょかんだより No.278

2007年

5月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「ぞうのオリバー」(えほん) シド・ホフ/作 偕成社

オリバーは、サーカス団に入ろうとはるばる海をわたって町にやってきましたが、手ちがいで入ることができませんでした。動物園どうぶつえんに行ったり、ペットになったりしてみますが、うまくいきません。オリバーは子どもたちに、「サーカス団だんでおどるのが夢ゆめなんだ」と話して、公園こうえんでおどりだしました。



「子ネズミチヨ口の冒険」ぼうけん さくらい ともか/作 偕成社



チヨ口は、初めて遠くまでおつかいに行くことになりました。お母さんが、「細長ほそながくてクネッとしていて、目がピカッと光って口がもえあがっている“へビ”に気をつけるように」と言いました。しかし、チヨ口は「そんなのへっちゃらさ」と元気しゅっぱつに出発します。

「にたものずかん どっちがどっち」(ちしきの本) 学研

“チーターとヒョウ” どっちもネコ科の動物で体のもようもにています。どこがちがうのでしょうか？ よく見ると背中のもようやしっぽの色、顔がちがうことがわかります。



“ウナギとアナゴ” “ムササビとモモンガ” などよくにている動物たちのちがいがわかる本です。

あたらしくはいった本



えほん

「おこりんぼうのアングリー」 ライマ / 作 朔北社

かいじゅう国のアングリーはとってもおこりんぼう。あるあさ、かのポータンにチクリとさされ、「ガオオオー！」とほえたたんぶんかびょうになってしまいました。口やはなから火がふきだして、まわりじゅうのたべものやおもちゃや友だちを、みんなこがしてしまいます。

ものがたり

「あかりちゃん」 あまん きみこ / 作 文研出版

あかりちゃんには、あかちゃんのころからたいせつにしているもも色のいすがありました。もう小さくなったので、今はぬいぐるみのクウがすわっています。



ある日、あかりちゃんは、おひっこしをすることになりました。トラックに、いすをつんだのですが、とちゅうでおとしてしまいます。

ともだち だ～れだ？

おはなしの主人公あてクイズ

ぼくは、かいぞくのおかしらで、いつもどくろの絵の帽子をかぶり、片目に黒い眼帯をしているよ。

手下は、ジャン、ケン、ポンの3人でみんな大人なんだ。アイコは人間の言葉を話すことができる、かしこいねこでいつもぼくを助けてくれるよ。

ぼくの名前わかるかな？



(こたえは、さいごのページにのってます)

ものがたり

「鈴の音は魔法のはじまり」

河俣 規世佳 / 作 ポプラ社



あや子は、引越してきたばかりで、ひとりぼっちです。
ある日、とびらにたくさん鈴がとりつけてあるすてきなお店を
見つけました。まるで「魔女の館」のようです。そこにひとりで
すんでいるおばあさんと仲良くなったあや子は、ふしぎなおはなしを
たくさんしてもらいます。

「月光のコパン」

舟崎 克彦 / 作 岩波書店



突然、三毛猫狩りに追われた猫は、小さな舟で海へ逃げ出しました。
沖へと流され、たどりついた小島で、奇妙な動物たちに出会います。
貝に話かけるラッコ、骨董屋のカモノハシ、言葉をひろうアルマジロ。
猫は不可思議な出来事に次々と巻き込まれていきます。

「ぼくってヒーロー？」 立石 彰 / 作 講談社

泣き虫のぼくの前にへんちくりんなおじさんが現れた。
2407年から来たおじさんは、ぼくをスーパー・キッズ・
ヒーロー計画の日本代表に選んだっていうんだ。
変身ベルトのボタンを押すと、銀と赤のスーツに黒のゴーグル、
頭にはちょうちんあんこうみたいな突起がついてる姿になっちゃった。
めっちゃかっこ悪いんだけど…。これって、ほんとにヒーロー？



ちしきの本

「ものづくり探検 スポーツと遊びの世界」 理論社



わたしたちの身のまわりにあるモノが、どのようにして作られていくの
かを紹介するシリーズです。わかりやすい絵と写真で、さまざまな工夫が
されているのがよくわかります。野球やサッカーのボール、テニスのラケ
ット、ピアノ、自転車、花火などの作り方がのっています。



名作をよもう！

今月の1さつ



「大どろぼうホッツェンプロッツ」 プロイスマー / 作 偕成社

おばあちゃんのお気に入りのコーヒーひきが、大どろぼうホッツェンプロッツに盗ぬすまれました。カスパールとゼッペルは、取り戻すために、変装へんそうして追いかけますが捕つかまってしまう。そして、カスパールは悪党の大魔法使まほうつかいツワッケルマンに売り飛ばされてしまいました。

さて、ふたりは無事、逃げ出すことができるでしょうか？

れきし じんぶつしょうかい



第 2 回 < ナイチンゲール >

生年月日 1820年5月12日

出身地 イタリア

イギリスの裕福ゆうふくな家に生まれたフローレンス・ナイチンゲールは、病気やけがで苦しむ人すくを救おうと、医学や衛生えいせいについて学びました。そして、家族の反対をおしきって30才のときに看護師かんごしになりました。戦場せんじょうにかけつけ、ねる間もおしんで負傷兵ふしょうへいの看護にあたり多くの人にしたわれます。その後、看護学校をつくるなど、看護の仕事の大切さを世に広めました。



クイズのこたえ

“ ポケット ”

「なぞのたから島」から「ながれ星のひみつ」

まで、このシリーズは20冊出ています。

読んでみてね。(寺村輝夫 / 作 あかね書房)



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272